



第72期  
(2020年3月期)  
決算説明資料

2020年5月15日

トーイン株式会社

証券コード：7923



## 第72期 決算概要

### 注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前年比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## 総括

当連結会計年度の業績については、包装資材事業においては、新規取引先開拓や既存客先からの受注拡大に向け、引き続き当社加飾技術等のアピールや企画提案型の営業活動を継続的かつ、きめ細かく実施いたしました。その結果、国内の売上高は、日用品分野は前年比で増収となりましたが、インバウンド消費が大きく下振れしたことや天候不順が続いたことなどで化粧品分野及び食品分野が低調に推移いたしました。ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）の売上は大幅な増収となりましたが、グループ全体の売上高は10,592百万円（前期比3.5%減）となりました。精密塗工事業は、積極的な営業活動を展開いたしましたが、米中貿易摩擦の影響などにより、電子部材の受注が不調となったことに加え、他分野からの受注も伸びせなかったことなどで、売上高は、683百万円（前期比13.6%減）となりました。その他事業は、受託包装において、化粧品分野で定期的な受注品を確保した一方で企画品の受注や食品分野の定期品の受注が減少したことなどで、売上高は544百万円（前期比11.1%減）となりました。この結果、当連結会計年度の全体の売上高は11,819百万円（前期比4.5%減）となりました。

利益面については、包装資材事業は、高効率機械の稼働の安定化、生産計画の精度向上、更なる品質保証体制の徹底などの諸施策を推進してまいりました。また、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）においても、生産体制の整備が進展し、生産性・採算性を向上させたため大幅な増益となりました。しかしながら、国内において、受注が低迷したことに加え原材料・副資材・人件費などの各種製造コストや物流コストの上昇を十分に吸収しきれなかったことなどにより減益となりました。精密塗工事業は、売上高の減少により減益となりました。その他事業は、受託包装において、柔軟性のある生産体制の編成などにより採算性を向上させましたが、売上高が減少したことでわずかに減益となりました。

この結果、当連結会計年度の営業利益は23百万円（前期比92.9%減）、経常利益は11百万円（前期比96.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益の計上などにより75百万円（前期比71.1%減）となりました。

## <当年度のトピックス>

### ○生産設備

上期 高効率印刷機・紙加工機を導入し、生産能力の増強を図る。

柏第三工場の隣地を取得する。

下期 自動化設備を導入し、省人化と生産能力の増強を図る。

### ○技 術

スペシャルボックス（トーインオリジナルの新技术を詰め込んだ提案用パッケージ）NO.5を完成させ、顧客への提案を開始する。

表面の全面ラミネート加工および窓貼り加工に、生分解性セルロースフィルムを使った紙箱を開発し、顧客への提案を開始する。

表示面積増大パッケージ                      特許出願（2020年2月）

改ざん防止機能付底入れカートン              特許取得（ 〃     3月）

オリジナルメタリックフィルム              特許出願（ 〃     〃     ）

## 第72期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第71期		第72期		対前期比	備 考
		%		%		
売 上 高	12,379	100.0	11,819	100.0	△559	
売 上 原 価	10,117	81.7	9,877	83.6	△240	
売 上 総 利 益	2,261	18.3	1,942	16.4	△319	
販売費及び一般管理費	1,929	15.6	1,918	16.2	△11	
営 業 利 益	332	2.7	23	0.2	△308	
営 業 外 収 益	96	0.8	57	0.5	△38	
営 業 外 費 用	72	0.6	70	0.6	△2	
経 常 利 益	356	2.9	11	0.1	△344	
特 別 利 益	34	0.3	106	0.9	72	
特 別 損 失	5	0.0	7	0.1	1	
税金等調整前当期純利益	384	3.1	110	0.9	△273	
法 人 税 等	120	1.0	37	0.3	△83	
当 期 純 利 益	263	2.1	73	0.6	△190	
非支配株主に帰属する 当 期 純 利 益	1	0.0	△2	△0.0	△4	
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	262	2.1	75	0.6	△186	

## 第72期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	第71期		第72期		対前期比	備 考
		%		%		
流動資産	8,060	42.2	7,347	41.1	△712	現金及び預金 △ 522 売掛金及び受取手形 △ 229
固定資産	11,031	57.8	10,544	58.9	△487	
有形固定資産	7,614	39.9	7,618	42.5	3	建物 △ 57 機械及び装置 172 土地 182 建設仮勘定 △ 290
無形固定資産	32	0.2	29	0.2	△ 3	
投資その他の資産	3,384	17.7	2,896	16.2	△487	投資有価証券 △ 499
《資産合計》	19,091	100.0	17,891	100.0	△1,200	
流動負債	5,529	29.0	5,089	28.4	△440	買掛金及び支払手形 △ 59 電子記録債務 △181
固定負債	4,191	21.9	3,789	21.2	△401	長期借入金 △ 320
《負債合計》	9,721	50.9	8,879	49.6	△842	
株主資本	8,111	42.5	8,099	45.3	△12	
資本金	2,244	11.8	2,244	12.5	—	
資本剰余金	2,901	15.2	2,901	16.2	—	
利益剰余金	3,677	19.3	3,664	20.5	△12	
自己株式	△ 711	△ 3.7	△ 711	△ 4.0	—	
その他の包括利益累計額	1,209	6.3	863	4.8	△346	その他有価証券評価差額金 △328
非支配株主持分	49	0.3	50	0.3	0	
《純資産合計》	9,370	49.1	9,012	50.4	△357	
《負債 純資産合計》	19,091	100.0	17,891	100.0	△1,200	

## 第72期 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株 主 資 本					計	そ の 他 包 括 利 益 累 計 額	非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 株 己 式					
当連結会計年度期首残高	2,244	2,901	3,677	△ 711	8,111	1,209	49	9,370	
当連結会計年度変動額									
剰余金の配当			△ 88		△ 88			△ 88	
親会社株主に帰属する 当期純利益			75		75			75	
株主資本以外の項目の 当期変動額						△346	0	△345	
当連結会計年度変動額合計	—	—	△12	—	△12	△346	0	△357	
当連結会計年度末残高	2,244	2,901	3,664	△ 711	8,099	863	50	9,012	

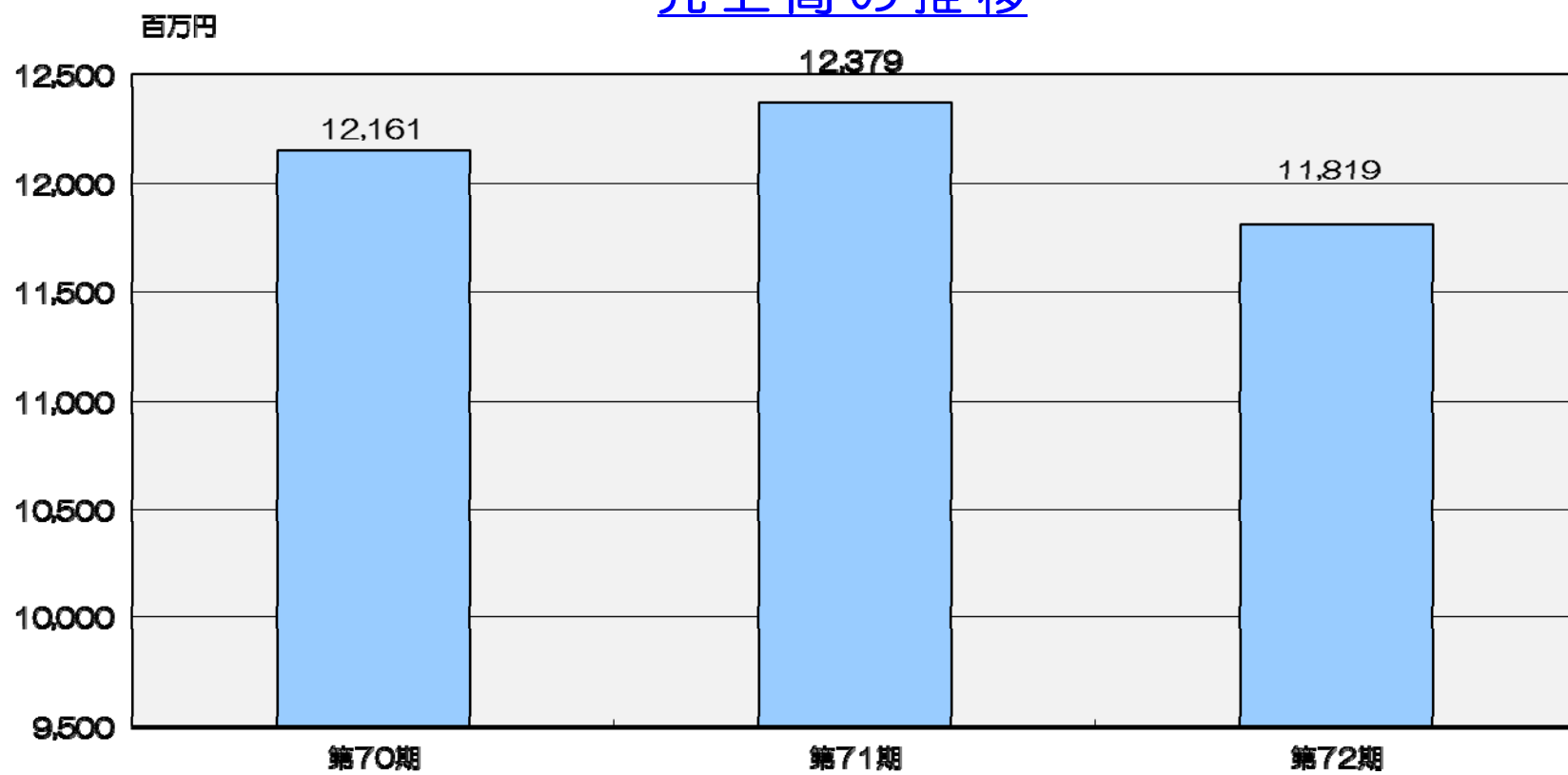
## 第72期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

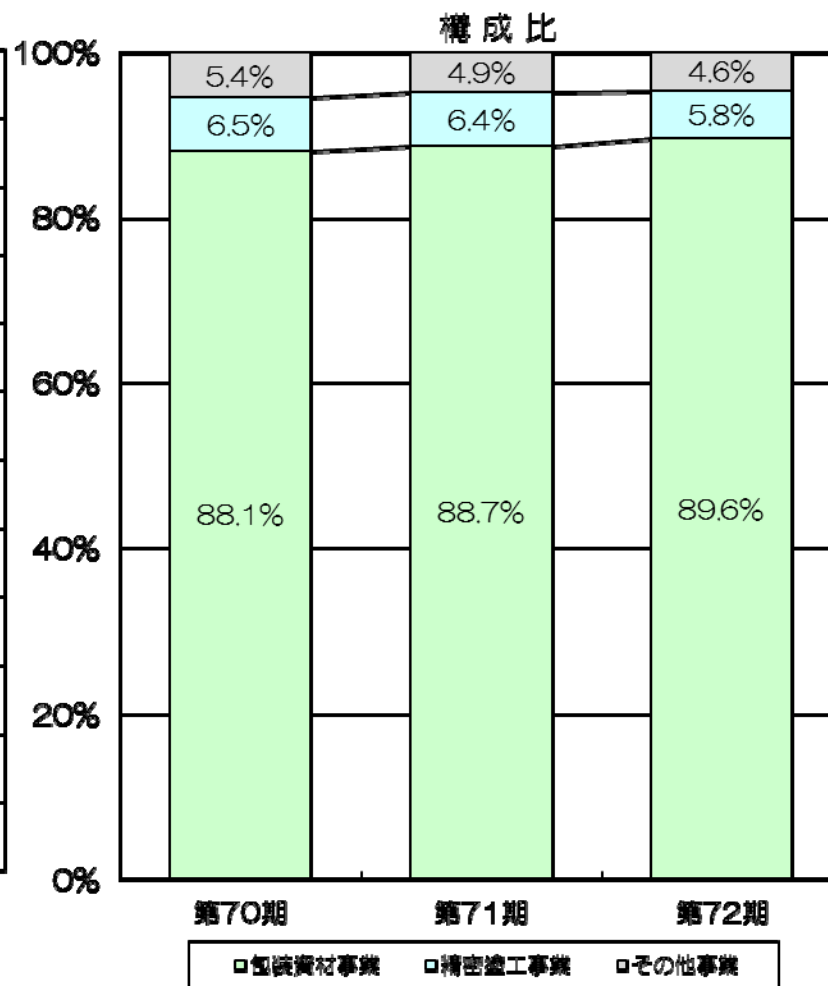
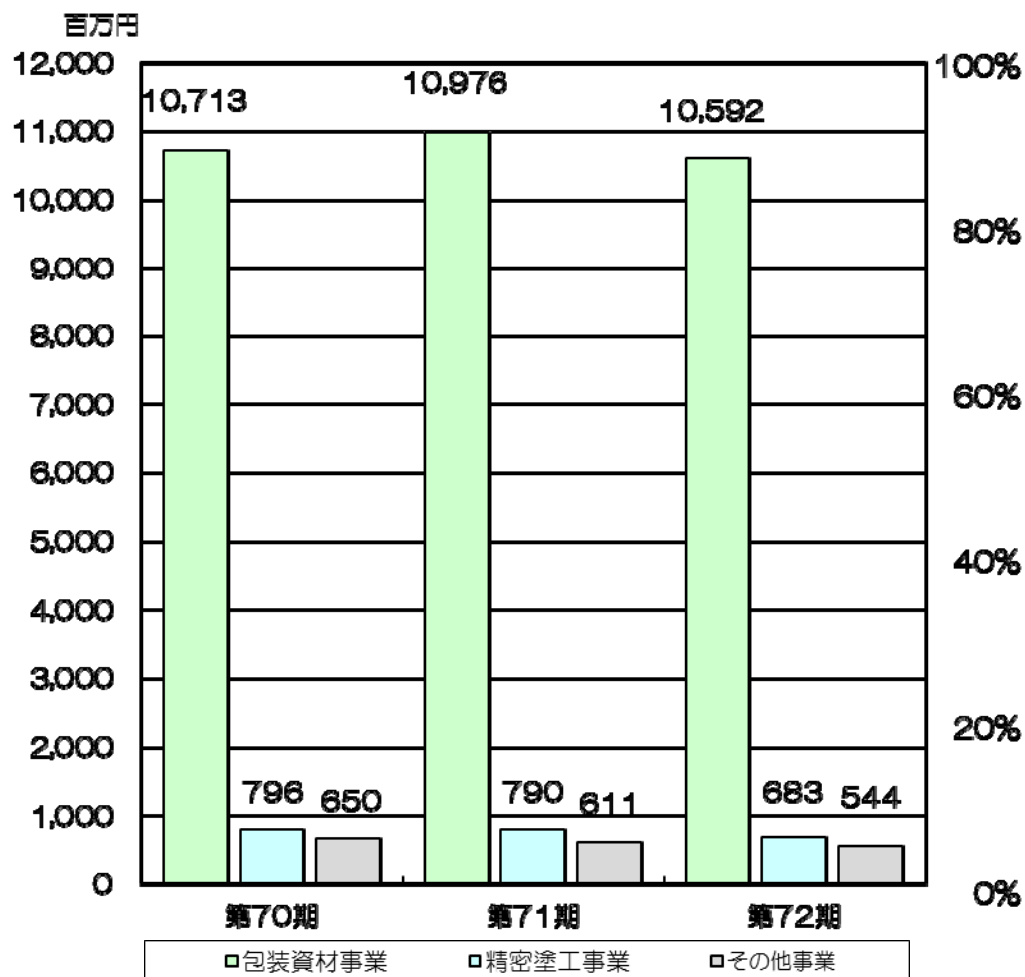
	第71期	第72期	備 考
営業活動によるキャッシュ・フロー	857	742	減価償却費 902 売上債権の減少 221 仕入債務の減少 △ 242 法人税等の支払額 △ 108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,030	△1,020	有形固定資産取得支出 △ 1,133
財務活動によるキャッシュ・フロー	726	△ 256	借入金の増減額 △ 149 配当金の支払額 △ 87
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5	10	
現金及び現金同等物の増減額	548	△ 523	
現金及び現金同等物の期首残高	2,230	2,779	
現金及び現金同等物の期末残高	2,779	2,256	



## 売上高の推移

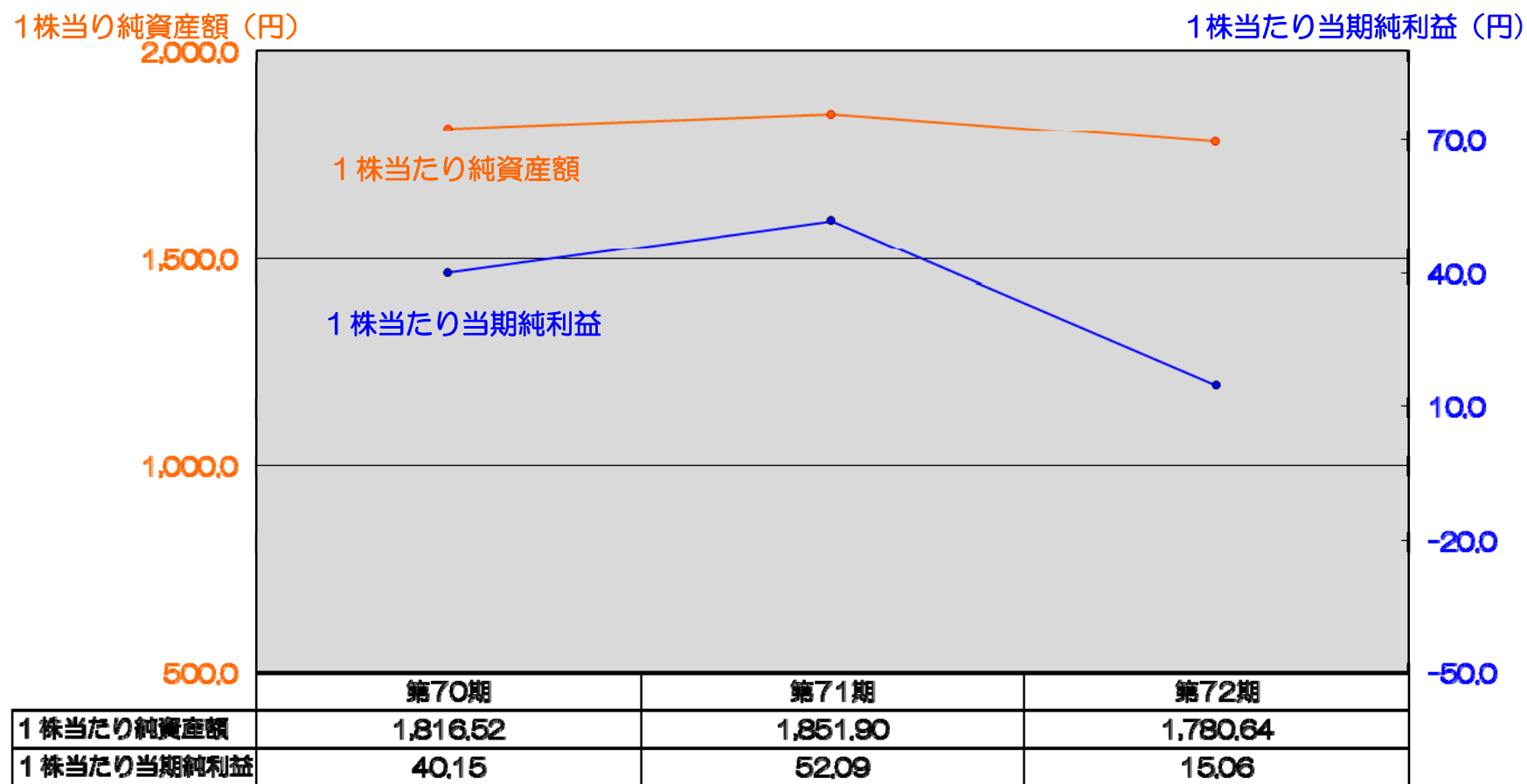


## 事業別売上高

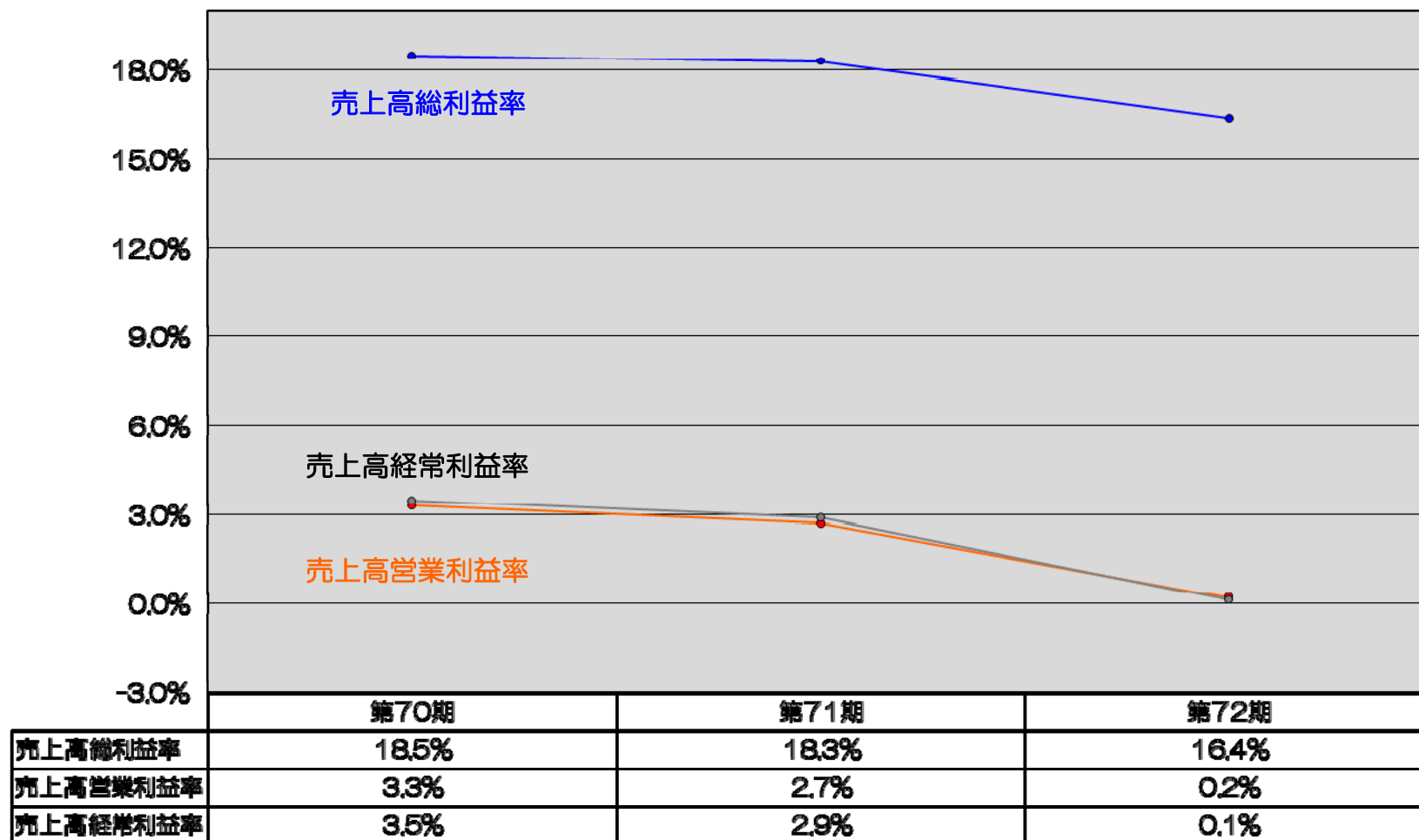


# 經營指標

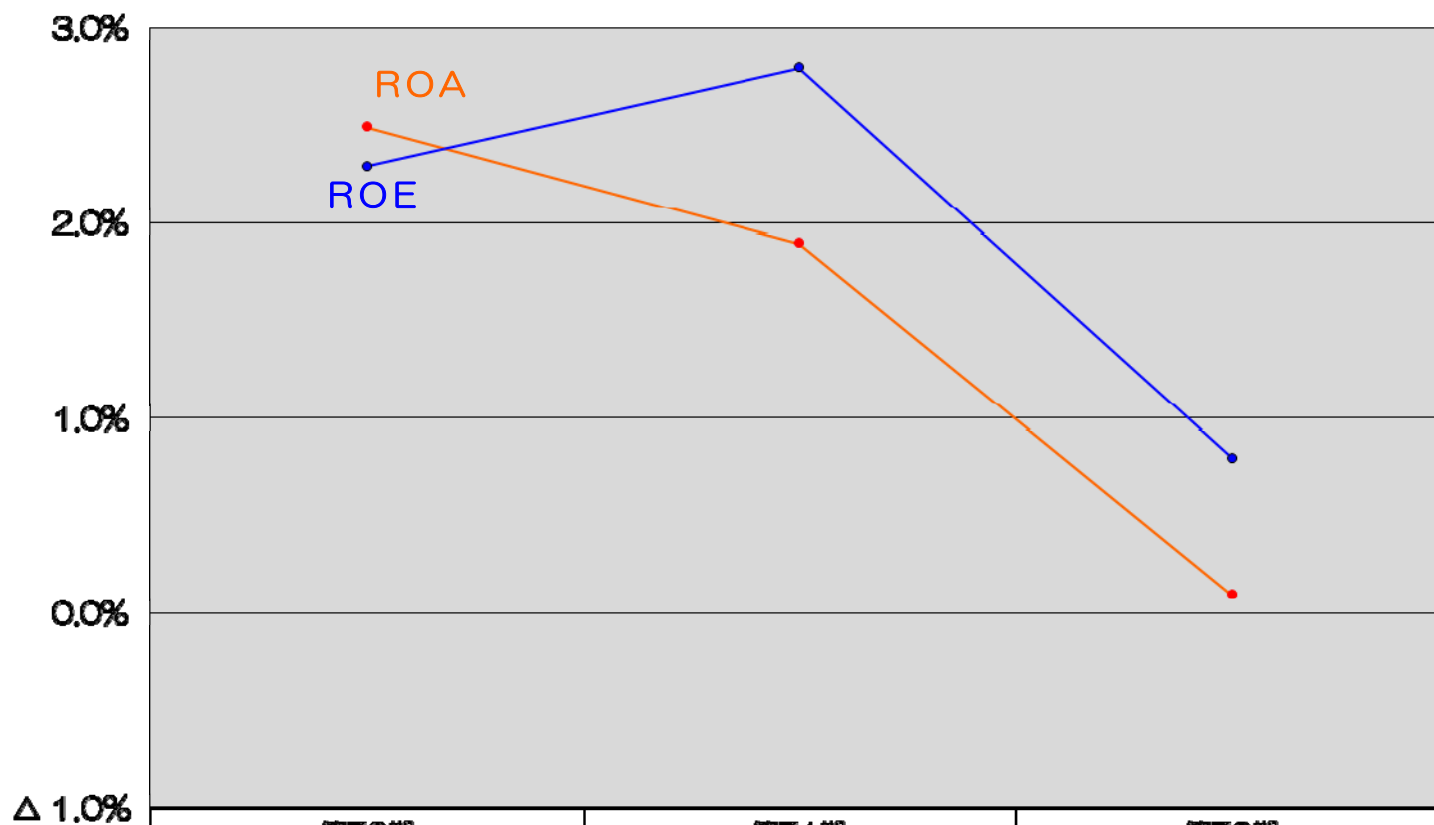
## 経営指標 I



## 経営指標Ⅱ



## 經營指標Ⅲ



	第70期	第71期	第72期
ROA(總資本当期經常利益率)	2.5%	1.9%	0.1%
ROE(株主資本当期純利益率)	2.3%	2.8%	0.8%

第73期  
(2021年3月期)  
連結業績予想

## 第73期の業績予想について

今後の見通しについては、わが国経済は、依然として米中貿易摩擦や地政学リスク等が存在することに加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大による輸出企業の業績悪化の広がりや個人消費の大幅な下振れなどにより景気は大きく後退すると予想されます。

包装資材事業をめぐる情勢については、少子高齢化の進行による将来不安に加え、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、幅広い業種で休業が本格化することや外出自粛要請の強まりなどから個人消費は大幅に下振れすることが予想され、また、収束の目途が立たないことから長期的な低迷が予想されるなど非常に厳しい事業環境が継続すると思われます。

このような状況のもと、当社グループは、お客様に当社製品を安定的に供給すべく、その最優先課題として従業員及びその家族の新型コロナウイルス感染防止対策に取り組むとともに、業容の維持・拡大を目指し、新規分野の開拓、差別化された商品・技術の開発などで競争優位性の確保・拡大に注力してまいります。また、引き続き、営業・生産・管理それぞれの組織の目的達成を重視する体制整備の強化と次世代を担う幹部・管理職・従業員育成のための取組みをさらに強化・充実させてまいります。

包装資材事業については、まず営業面で、引き続き当社加飾技術のアピールや企画提案型の営業活動を継続的かつ、きめ細かに実施し、化粧品分野及び医薬品分野のさらなる受注拡大、食品分野及び日用品分野の既存客先からの受注拡大と新規客先の開拓、ラベル部門での新規分野・新規客先及び販売チャネルの開拓に積極的に取り組むとともに、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいります。また、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）及びタイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD.）は既存客先からの増注を図るとともに、東南アジア全域の日系企業、外資系企業ならびにベトナム及びタイ国内のローカル大手企業のさらなる開拓、増注を図ってまいります。

生産面においては、高効率機械の安定稼働、省人化・省力化の推進、柏第三工場拡張工事等による内作生産能力の増強、効率的な生産体制の構築、品質管理・予防保全策の再徹底、特殊な加工技法を用いた製品の生産体制の拡充、外部協力会社のネットワーク拡大等を推進するとともに、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）は、品質保証体制の再構築・新技能の習得・材料調達ルートの確立のための諸施策の実行と内部管理体制の一層の改善・強化を図り、収益基盤の安定化に努めてまいります。精密塗工事業については、新たな商品開発での事業範囲の拡大を推進することなどで新規分野・新規客先の需要先の開拓を推進するとともに、生産面では、生産体制の整備を図り、引き続き高品質な商品提供ときめ細かなサポートにより売上の拡大・安定と収益性の向上による事業の安定化を目指してまいります。その他事業については、デザインからアッセンブルまでの一貫性をセールスポイントに、医薬部外品・化粧品・食品製造の許認可を活用しつつ、定期的な商品の受注拡大に注力するとともに、生産面では、フレキシブルな生産体制の編成、省人化・省力化・機械化の推進、外注網の整備等で生産力の向上を図るとともに品質保証体制を一層強化し、コスト競争力の強化に努めてまいります。

2021年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高12,000百万円、営業利益30百万円、経常利益30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益0百万円を予想しております。

なお、現時点では新型コロナウイルス感染症の収束時期や業績に及ぼす影響に不透明な部分がございますので、今後の推移等により業績予想の修正が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

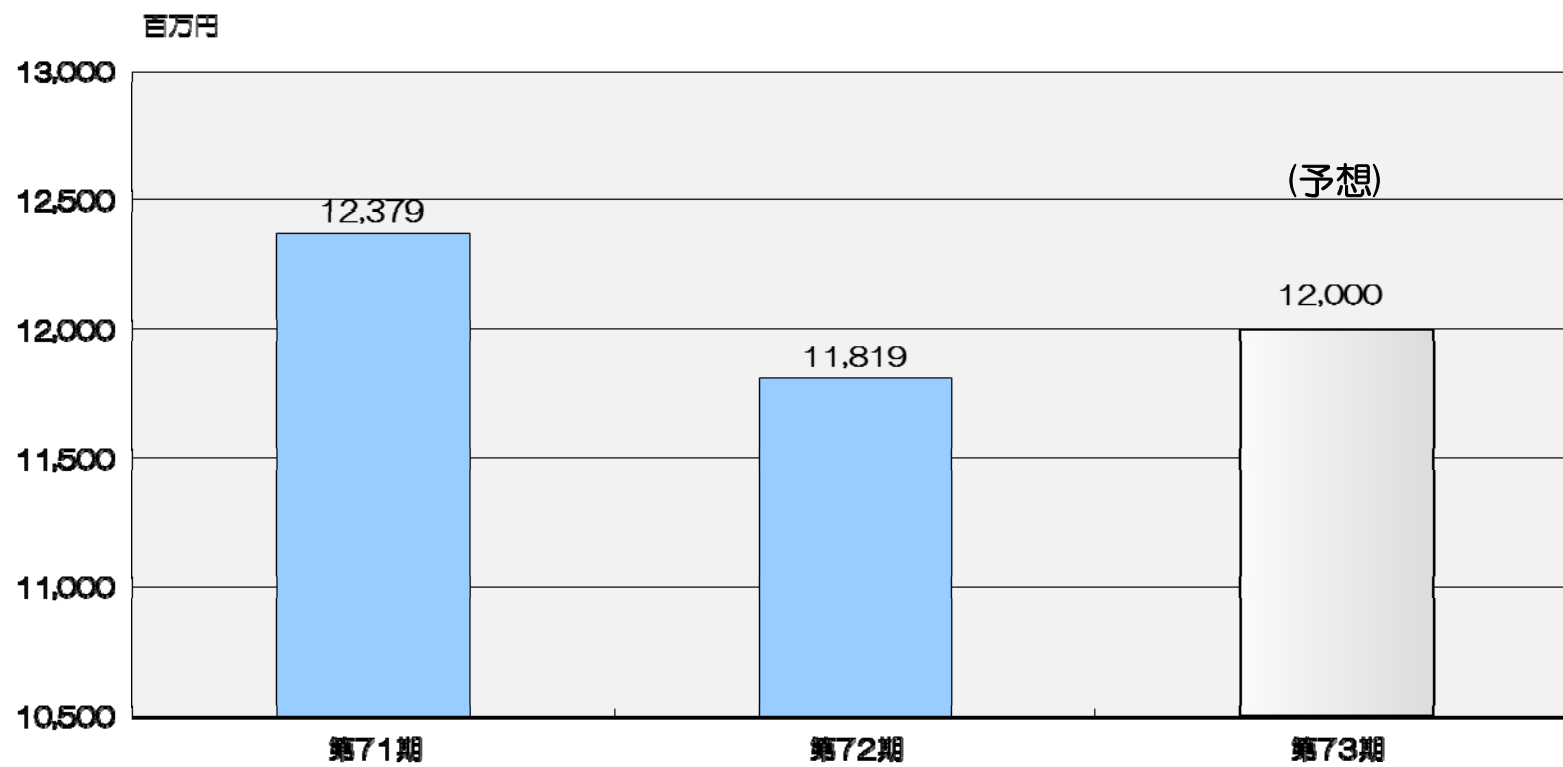


## 第73期の連結業績予想

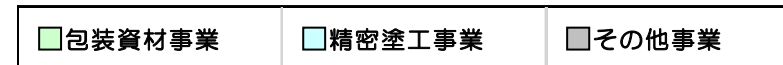
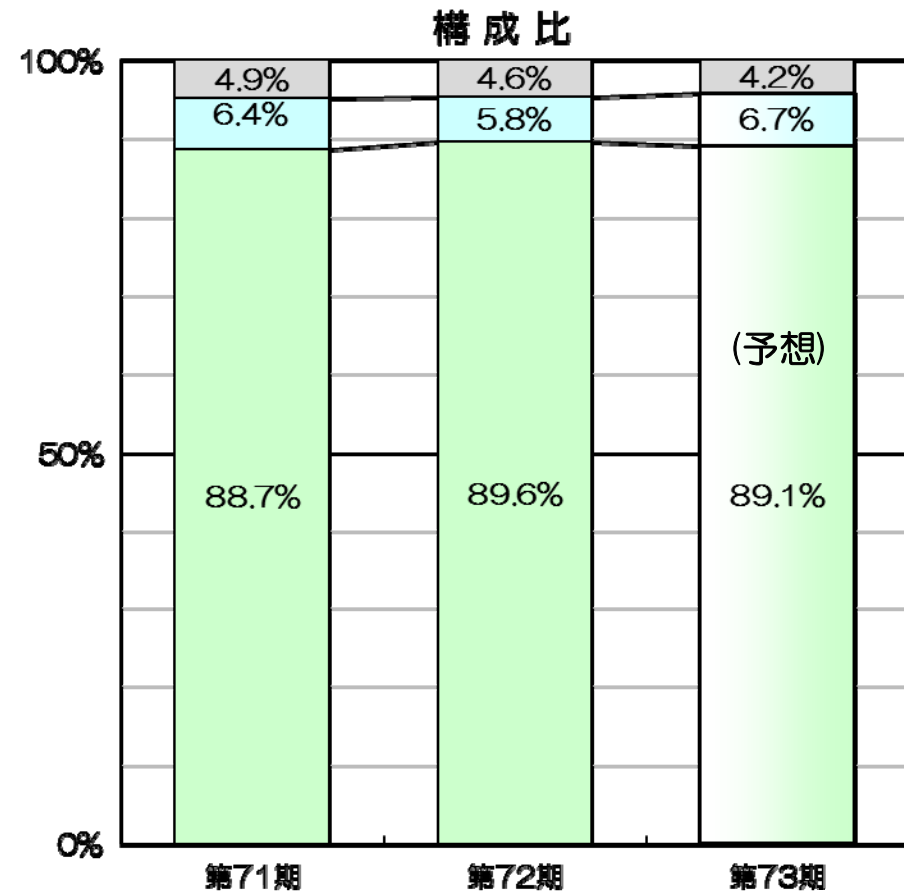
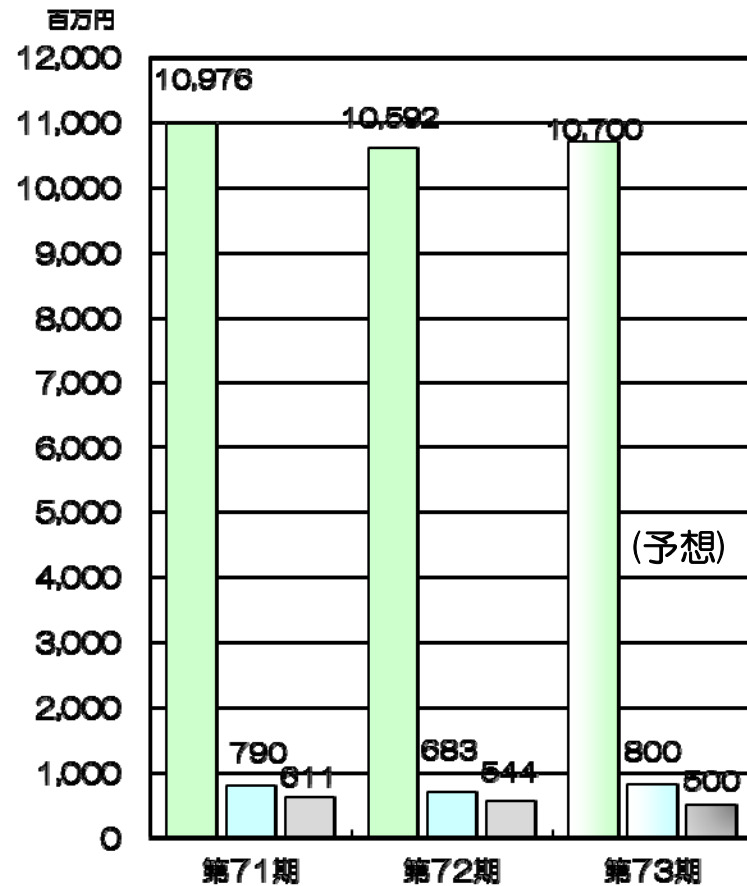
(単位：百万円)

	通 期(予想)	
売 上 高	12,000	% 100.0
営 業 利 益	30	0.3
経 常 利 益	30	0.3
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	0	0.0

## 通期売上高



## 事業別売上高



## 経営の基本方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の立場にたって、包装資材事業を中心とした製品に関する様々なニーズにお応えすることが豊かな社会への貢献につながるものと考えます。

またグローバルな企業競争下の社会環境において、長年の知識と技術力を基礎に技術革新に励み“よきモノづくり”を極め、きめ細かいサービスによりお客様のご要望にお応えすることを目指しております。

### <経営理念>

- お客様に学べ、それが社会への貢献につながる
- 技術革新に挑め、それが会社の発展につながる
- 夢と利益を追い、それが皆の幸福につながる

## 企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

# トーン株式会社

## 《事業所》

### ◎東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2  
TEL：03-5627-9111(代) FAX：03-3638-1134

### ◎大阪営業所

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-1-27  
TEL：06-6136-4351(代) FAX：06-6136-4363

### ◎本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十余二16-1  
TEL：04-7131-2111(代) FAX：04-7132-6937

### ◎野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5  
TEL：04-7120-8805(代) FAX：04-7120-8017

## 《子会社》

◎TOIN(THAILAND)CO., LTD. (トーンタイランド)  
タイ王国バンコク市

◎TOIN VIETNAM CO., LTD. (トーンベトナム)  
ベトナム社会主義共和国ビンズン省

## 《関連会社》

◎Printing Solution Co., Ltd. (PSC社)  
タイ王国バンコク市



○ホームページURL <https://www.toin.co.jp>

○本資料に関するお問合せ

経営企画部 TEL：03-5627-9111 FAX：03-3638-1131